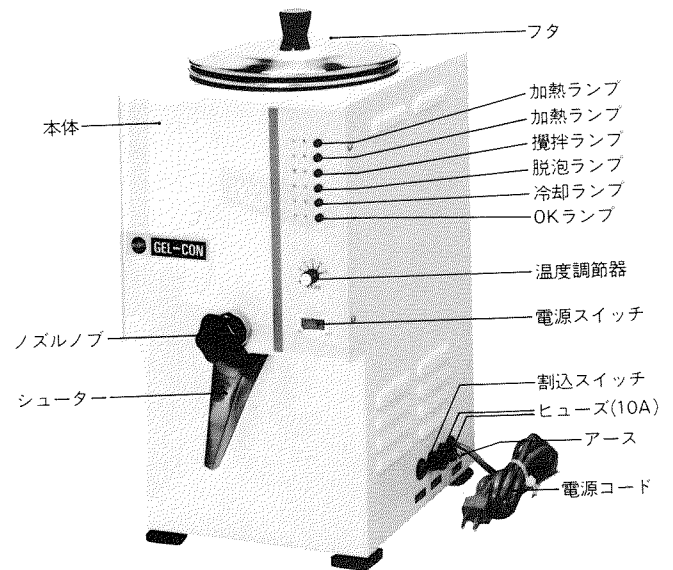


構造と名称

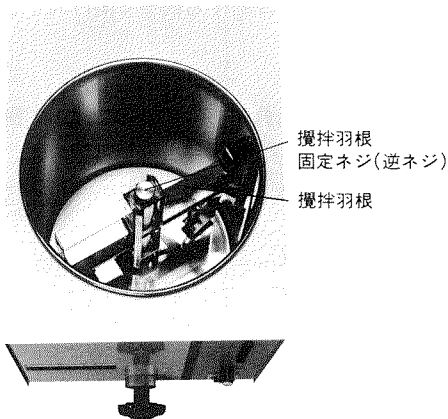
松風ゲルコンは、各種寒天の溶解・脱泡・冷却・保温を電子回路の採用により、全自動で行います。寒天はいつでも最適の状態で使用することができます。

特長

1. 電子コントロールで全自動
電源スイッチと保温温度をセットするだけで後はプログラムにより、全て自動的にこなされます。
2. 完全溶解・脱泡機能付き
溶解温度を約25分間係留し、係留途中で攪拌が止まり脱泡します。
3. 過負荷防止機能付き
過負荷を検知すれば攪拌モーターが自動停止し、モーターや羽根をいためません。
4. 保温精度 $\pm 1^{\circ}\text{C}$ ・工程のランプ表示・過昇温防止装置・低騒音設計など各部に注意がはられています。



1



保温温度	約 40°C ～ 60°C
脱泡機能	約 95°C を25分間係留…攪拌停止
攪拌	過負荷自動検知停止方式…停止時間約5分、脱泡中攪拌停止
温度制御	電子式・保温精度 $\pm 1^{\circ}\text{C}$
過昇温保護	$120^{\circ}\text{C} \pm 5^{\circ}\text{C}$ …手動復帰タイプ
その他	プログラム割込みスイッチ付き
外形寸法	W259×D348×H503mm
質量	約15kg

※本仕様は予告なく変更することがありますのでご了承下さい。

設置

1. 壁面より5cm以上離し、丈夫な台の上でご使用下さい。
※隙間が少ないと冷却時間が長くなります。
2. 電源はAC100V 50/60Hz・10Aの適正配線されたコンセントをご使用下さい。
※アースは必ずお取り下さい。

仕様

形式	SGC-E
電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	600W MAX
寒天溶解槽	$\phi 200$ ×深さ250mm(約7.5ℓ)ステンレス製
寒天溶解量	約6kg MAX

2

寒天の追加溶解

■加熱攪拌中

細断した寒天を投入。…(注) 加熱後半での投入はできません。

■冷却又は保温中

電源を切り細断した寒天を投入後改めて電源を入れる。

■槽内の寒天がなくなり新しく溶解する場合

電源スイッチを切り底部のゴミ、埋没材などを取り除いてから細断寒天を投入し電源を入れます。…槽の掃除は寒天が固まってから行うと容易にできます。

■槽内で寒天が固まった場合

ナイフなどで寒天を切り、攪拌羽根ごと取り出し、寒天を除いて再び羽根を元通りセット後使用して下さい。

●寒天が固まった状態で通電しても過負荷自動検知停止機構が働き故障にはなりません。溶解時間が長くなり、又一部溶け残る場合があります。

●攪拌羽根固定ネジは逆ネジです。

再スタート

使用中停電又は不用意に電源が切れた場合、プログラムは最初から繰返えしとなります。その時の状況に応じて次の操作を行なって下さい。

■加熱中

そのまま通電。

但し長時間停電による槽内での寒天のゲル化に注意。

■冷却中短時間停電

再通電時右側面下方にある割込みスイッチを約3秒間押します。以後冷却工程のプログラムが進行します。

■保温中短時間停電

再通電時割込みスイッチを約3秒間押します。冷却ファンが短時間回転後自動的に保温に移ります。

■冷却又は保温中10分間程度の停電の場合

停電時間にもよりますが、通電後しばらく加熱します。寒天にムラがなくなれば割込みスイッチを約3秒間押します。

注意事項

- 電源を切る場合は必ず槽内の寒天を抜いて下さい。
- 電源が切れた場合は槽内の寒天のゲル化に注意して下さい。(槽内で固まると取り出しが困難になります。)
- 壁面から必ず5cm以上離して設置して下さい。
- 空炊きに注意して下さい。
- 電源スイッチを入れ槽の温度が上ってないのに加熱ランプが点灯しない場合は過昇温防止器が作動しています。(当社営業サービス課までご連絡下さい。)
- 極少量の溶解保温は温度誤差を生じることがあります。
- 加熱中、フタは高温になります。取り扱いに注意して下さい。
- 安全のためアースが必要です。